

ESG 課題への取り組みについて

キリンホールディングスでは、ESG 課題について、グループが社会とともに将来にわたりサステナブルに存続・発展するための重要な課題として、「持続的成長のための経営諸課題（グループ・マテリアリティ・マトリックス）」^{※1}の中で整理しています。私たちの価値創造基盤を支える「人材・組織風土」「コーポレートガバナンス」を強化しながら、社会と共存する企業として「環境」をはじめとした社会課題に対する責務を確実に果たしてまいります。

※1 P.29をご参照ください。

主要な取り組み課題について

社会からの要請・期待に応えて、グループで取り組みを推進している主な課題をご紹介します。「地球温暖化」「アルコール関連問題」「食の安全・安心」については、CSVコミットメント^{※2}で掲げる重点課題に含めて、グループ全体で取り組んでいきます。

※2 P.30をご参照ください。

1 地球温暖化

キリンググループでは、自然のめぐみの持続可能性を高め、事業経営の安定と地球環境の保護を目指すため、2013年に「キリンググループ長期環境ビジョン」を策定し、2050年に向けての長期目標を設定しました。

2015年の「パリ協定」締結以降、急速にその重要性が増している地球温暖化対策については、“Science Based Targets” (SBT^{※3})の手法による温室効果ガス(GHG)中期削減目標を設定しました。この目標達成に向けて、更なるエネルギーの効率利用を進めるとともに、再生可能エネルギーの導入拡大を図ってまいります。

※3 世界の平均気温の上昇を「2度未満」に抑えるために、企業に対して、科学的な知見と整合した削減目標を設定するよう求める、CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WWFによる共同イニシアチブ。

2 アルコール関連問題

キリンググループは、責任ある酒類メーカーとして、アルコールの有害な摂取が人々の健康に悪影響をもたらす、社会問題につながり得ることを懸念しています。これらの問題に対処すべく、広告・宣伝活動に関する厳しい自主基準の設定・運用や、適正飲酒の啓発活動に取り組んでいます。

日本では、2016年策定の「アルコール健康障害対策推進基本計画」に基づき、不適切な飲酒の誘引を防止するための施策を、行政や医療関係者などと連携し、アルコール業界全体で推進しています。豪州・ニュージーランドでは、低アルコール度数のビールのラインアップを増やして適正飲酒に貢献するとともに、若年層や成人全般の健全な飲酒を促す業界協働イニシアチブにも参加しています。

3 食の安全・安心

フードテロや食品偽装、食中毒など、食の安全が脅かされる事態が発生し、お客様の商品品質に対する安全・安心への関心も高まっています。食の安全・安心は、食品を扱う企業グループの責任として、最優先して取り組むべき課題だと認識しています。キリンググループ品質方針である「お客様本位・品質本位」に基づき、安全性の確保を図るとともに、様々な接点でお客様の安心につながる情報の提供を行うことで、品質に対するお客様の安心感と信頼感の向上につなげてまいります。常にお客様の声に真摯に耳を傾け、お客様とのコミュニケーションを大切に、信頼につながる情報を誠実にお伝えしてまいります。